

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2017年
1月

137号

福寿杯

席仁
作

福寿杯(ふくじゅはい)
めでたい幸せの器

宗教法人 真生会

真生会の教えとは！

仏さまの智慧と

仏さまのものの見方を身に付け

自分の運命を変える

在家の法華経教団です。

宗旨宗派は問いません。

どなたでも安心してお越し下さい。

◇どの家庭も毎日が楽しく

ぬくもりと安心のある家庭になる

◇だれでも毎日がイキイキとし

ありのままに輝く自分になれる

◇幸福の五ヶ条

一、素直な心：（おかげさま）

二、誠の心：（まず人さま）

三、明るい心：（きつとよくなる）

四、尊ぶ心：（仏性を拝む）

五、信じる心：（人みな仏の子）

開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁

修養の第一歩は怒らぬこと

いかなる理由がありましようとも、怒ってはなりません。

「怒りは地獄の業なり。病氣、不幸、災難の本」となります。自分が今日まで歩んできた道を反省しますと、ずいぶん怒ったことがあったはずです。怒ったばかりに職場を捨て現在職に困っている人、怒ったばかりに夫婦離婚した人、怒ったばかりに相手を殺害し、一瞬にして相手も自分も生涯を台無しにした人も数多くあるはずです。

よく怒る人は病氣も治りません。また、子供の病氣は、親が怒っているでは治りません。

よく怒る人は経済も楽になりません。よく怒る人の家庭は常にもめ続けます。何が難しいと言っても、怒らぬ修行くらい簡単なようで難しいものはありません。

私は絶対怒りませんという人が時々ありますが、まず千人に一人ぐらいでしょう。表面に出すか、内心で怒っているかの違いだけで、よく怒るのが凡夫（ほんぶ）なのであります。

よく怒る人は仏さまの眼から眺められますと「三才の童子」にも劣る知恵しかないと言えるのです。故に修行に卒業はありません。死ぬまで修行を続けて、怒らぬ人になることが大切です。

決して怒ってはなりません、つい怒る時もあります。そこで怒り方にも三通りあることを知って下さい。

一、岩に刻みし文字の如き怒り方

二、砂に描きし文字の如き怒り方

三、水に描きし文字の如き怒り方

一の怒り方は、一番不幸になります。なぜなら、岩に刻んだ文

字は破壊しなければ消えませんが、いつまでも怒り続けることは、自分の運命を最後破壊してしまうのです。

二の怒り方は、ちようど砂に書いた文字は雨か風に遇えば消えますように、一時的には怒っても、何かの縁によつて怒りを消していく人です。

三の怒り方は、水に字を書きましても、書く後から消えてしまいますように、怒ってもすぐ怒りを消そうと努力する人です。

さて私たちはどの段階にいるのでしょうか。一にの人は二に切り換え、二の人は三に改めるべく精進する事こそ、自分の運命を好転させる秘訣なのであります。徳のない人ほどよく怒ります。不徳な人ほどよく貪り、徳の切れかけた人ほどよく愚痴をこぼすものです。では、どのようにすれば怒らぬ生活ができるかが問題です。それには、常に正しい仏法の縁に触れることが大切なのです。仏の教えの縁に近づく努力をしておりますと、知らない間に仏の真似をするようになり、怒らない人となれるのです。

(昭和54年12月、真実に生きる13号)

ぶし眞教法話

会長 田中庸仁
たなかつねひと

平成二十九年信仰目標

衆善奉行 しゅうぜんぶぎょう 徳の器を大きくする

◇器に応じて幸せが入る

新年を迎えると誰もが新しい目標を掲げます。結婚、マイホーム、子授け、受験合格、就職などは個人の願いであり「別願」と言います。しかし、私たちがこの世に生まれて来た本当の目的は「徳を積んで仏になる」ためだと教えられます。これはすべての人に共通の目的であり「総願」と言います。

そこで、今年の信仰目標を「徳の器を大きくする」と掲げました。

どんなに幸運がやってきても、宝くじが当たっても、自分にそれを受けるだけの徳の器ができていなければ、みなこぼれ出てしまいます。人にも家にも会社にもそれぞれ徳分があり、徳の器の大きさはみな違い、器の大きさに応じて幸せが入って来るのです。朝から晩まで一生懸命働き、努力しているのになか

なか幸せになれない人は、徳の器が小さいのです。

◇徳の器を大きくする方法

安倍総理は「一億総活躍社会」を掲げ、女性の社会進出や雇用促進を目指し、共働きの家庭が増えています。豊かな生活をするにはお金は欠かせません。しかし、夫婦が共働きでどんなに一生懸命働いてお金を稼いでも、徳の器ができていなくなったら、思いもよらぬ無駄な出費にこぼれ出てしまいます。

ではどうしたら徳の器が大きくなるのでしょうか。

その答えが『衆善奉行』^{しゅうぜんぶぎょう}です。衆||「たくさん」の善いことを、奉行||「させて頂く」のです。「〇〇してやる。してあげる」ではいけません。せつかくの徳が出て行ってしまいます。

お釈迦さまご自身、前世もそのまた前世も、自分の家族や家庭のことは二の次にして人のために尽され、自分の智慧も体もすべて人のために施してきて仏になったと説いておられます。今年は小さな善いことをたくさん積み重ねていきましよう。特に「教えの一句、一節」でも人に伝え続けることは一番徳が積めるのです。勇気をもってお伝えしてください。

◇やっってるつもりは落とし穴

いま私は歯の治療に通っています。一年ほど前、奥歯のかぶせ物が取れてしまい、忙しかったので応急処置だけしてもらい、その後調子が良いのと忙しさに追われて放置していました。さすがに一年もたつと歯ぐきが腫れたり、出血したりするようになり、久しぶりで気が引けましたが再度治療に行きました。

年齢のせいもあり、歯周病も進み歯ぐき全体が弱っていましたので、歯の土台であり根本である歯ぐきの治療と歯垢や歯石の掃除から始まりました。

「歯は朝晩磨いていますか。シツカリ磨けていますか。正しい磨き方を教えてください」と言われ、「子供じゃあるまいし、生まれて約六十年、毎日磨いてきたので、自分より若い先生に今更教えてもらわなくても…」と内心思いました。

「多少血が出てもし心配いりません。このように磨いて下さい」と正しい方法を教えてもらいましたが、「ハイ、ハイ分かりました」と軽く受け流しました。

それからは、腫れた歯ぐきから血が出るほど力を込めて磨き、一週間後に診てもらったら「力の入れ過ぎです。ブラシの当てる向きが違います。かえって歯ぐきが傷ついています」と、知ってるつもり、やっってるつもりが、余計に歯

ぐきを痛めるような我流の磨き方をしており赤面の思いでした。

今は一週間か十日おきに治療に通い、歯も歯ぐきの状態も見違えるほど良くなっていきますと誉められました。「虫歯や歯槽膿漏しそうのうろうは万病の元です。これからはひと月に一度はメンテナンスに来て下さい」と、きつくと言われました。

◇信仰も日頃の手入れが大切

歯の治療を通じて、信仰も同じだとつくづく感じました。

①困った時だけのお参りになってないか？少し良くなったからと思つてしばらく教えから足が遠ざかると気付かないうちにまた悪くなってしまいます。

②自分では正しいと思つても、仏さまから見ると我流の間違った方法で実行し、余分な所を力を入れ過ぎて、自分も相手も傷つけていることもあります。

③心のメンテナンスを怠らないように朔日ついたち参りや月に二回や三回はお参りし、日々の心の磨き方、手入れの仕方をご法に照らしてしっかり確認しましょう。

④「聞くは一時の恥、聞かぬは末代の不覚」相談、報告は恥ずかしい事ではありません。心の歯周病にならないように添削指導を受けましょう。

放つて置くと、気付いた時には大変なことになってしまいます。

今月の運勢（2月）

（2017年2月4日～3月3日）

一 白水星

人との出会いや家族との団らんが楽しい月ですが、節度が大切です。余分な一言に注意し、足りないことに不満を言わないように。いづれにしても苦楽両極端はいけない。

二 黒土星

突然の変化が訪れる。慌てず立ち止まって行き先を見定めてから前進しよう。能ある鷹は爪を隠す。謙虚な姿勢で変化に取り組めば願いは叶う。驕慢な心が最大の敵である。

三 碧木星

テンションが上がり、明るく輝き、やる気が

湧き出る。事は思い通り運ぶが手放しで安心してはいけない。誰にも公平に接すること。

怒りや争い事はせっか

くの運気が落ちる。

四 緑木星

何かと低調な月となる。

派手に行動するよりは静かに時を待つこ

とが大切。先祖供養と

陰役を喜んで行う功德

で問題や心に引っ掛

かっていた悩み事が解

決する。

五 黄土星

トンネルを抜けやっと

光が差し始める。慌て

ずコツコツと地道に活

動すること。本格的に

動くのは月の後半か

ら。一人で頑張らずみ

んなで協力して基盤つ

くりの時。母や妻の助

言に耳を傾けて。

六 白金星

いよいよ高運期に入る。

スタートダッシュ

はゆっくりと。周囲に

声掛けをするのがコ

ツ。目的をはっきり決

めて進むこと。明るく

無心に行えば天が味方

する。嘘や見栄は絶対

禁物。

七 赤金星

何をやってもうまくい

く絶好調の月。活動範

囲と人脈を広げ飛び回

わることができが、

無理をしてやり過ぎは

いけない。適度が大切。

人に対する優しさと従

順さがあれば大丈夫。

八 白土星

今月は身も心も少し

ゆっくりとして、エネ

ルギーを蓄えよう。新

しいことを始める時で

はない。周囲の状況を

よく見渡して次なる計

画を考える時。軽率に

動かない事が大切。

九 紫火星

新しい事を始める時で

はない。今日までの課

題を完成させるために

みんなで協力し結束す

ること。そうすれば想

定外の大きな成果が得

られる月。尊敬できる

目上の人に相談し知恵

と力を借りるとよい。

「まごころ誌代」御礼

杉山佳美	早野雅大	亀井善二	村上視佑記	西川睦子
家安久子	原身予子	柴田千春	長尾かれん	宮島りえ
松本真由美	小島尉須子	高橋けさ江	長尾聖良	長尾かれん
京川春男	田中庸仁	平工初子	永田愛	真木駿人
鈴木伸之	田中佑季子	岸本眞廣	坂本育身	真木杏里紗
平田雄治	田中啓予	岸本しげ子	出田渚	田中教之
山田美保子	田中宏明	土川順寛	浅井佑季子	鈴木悠真
滝本光夫	亀井善広	土川恭代	大西弘子	鈴木章紘
多田正幸	亀井由実子	土川康二	大下裕子	田中彩起子
多田道子	高橋身衣	土川廣美	小村一紘	田中久美子
東森繁一	河合健司	半澤照子	大西生子	田中成美
澤君美	河合麻美	安田初子	辻みわこ	鈴木秀雄
岸本好正	角田芳一	伊東 晃	宮内秀子	君島加奈子
岸本眞廣	後藤清美	佐藤百々枝	林田嘉聖	大川恭代
豊田直正	西元佳恵	佐藤光洋	小林佑実子	鈴木彩夏
多田佳央	松尾定洋	相良月詠	荒木敬依子	鈴木信行
田中新治	横山都久子	平口富子	奥田佳代	鈴木佑僖子
早野起世	岩田三代治	滝山恵依子	細谷早予子	山館杏衣
宮田雄貴	横井志奈子	小侯知香	小村一紘	山館悠華
足立和美	横井明彦	坪井佑介	浅井佑季子	山館優実

★皆様の『まごころ次第』献金の協力によって継続発刊しています。
紙面をもつて感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員種別と会費

・普通会員 500円/月 ・特別会員 1000円/月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地
TEL 058(235)7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 ・三菱東京UFJ銀行 岐阜支店

普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中法隆

しあわせ眼鏡

☆運を開くの魔法の言葉☆

できる

できる、できる

自分にもきっとできる

成れる

成れる、成れる

自分もきっと幸せに成れる

今に良くなる

きっと良くなる

行き詰まったときは

自分の心に呼びかけよう

幸せの扉は自分で開ける

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | |
|---------------------|--|
| 【総本山真生寺】 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
TEL 058 - 235 - 7304 |
| 【所沢教会】 〒 359-0037 | 所沢市くすのき台 1-9-5
TEL 04 - 2992 - 8236 |
| 【名古屋教会】 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3-10
TEL 052 - 351 - 3904 |
| 【岐阜教会】 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3-19
TEL 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
TEL 06 - 6308 - 5637 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送り
します。詳しくはお尋ねください。

2017年1月10日発行 第137号(通巻242号)

※誌代無料(献金・浄財による無料発行)